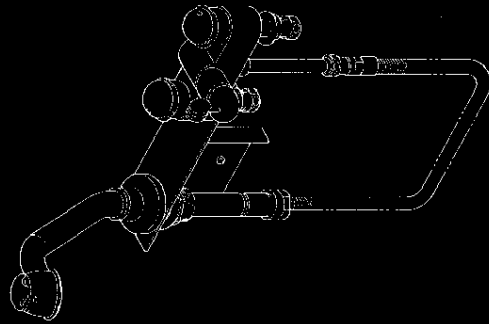


洗面器用洗髪機能付湯水混合水栓

TOTO

ご愛用のしおり

■このたびは、TOTO洗髪機能付湯水混合水栓をお求めいただきました。ここにありがとうございます。
このしおりをよくお読みのうえ、正しくお使いください。

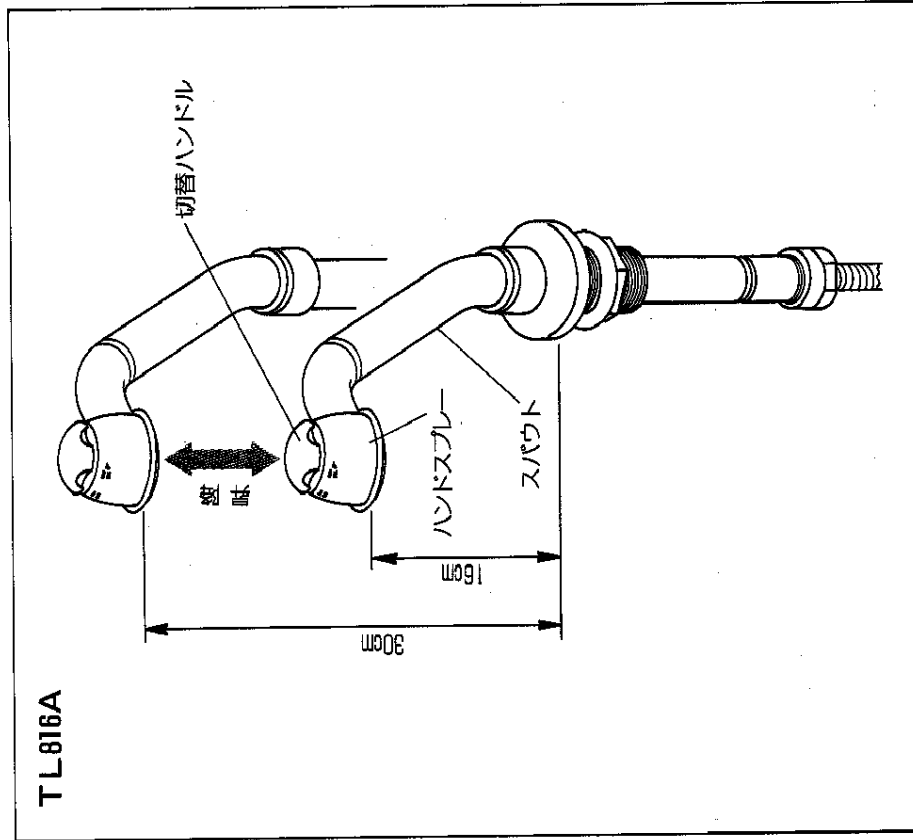


もくじ

特長・各部のなまえ	1～2
つかいかた	3～5
使用上の注意	5～6
手入れのしかた	6
故障したときは	6

特長・各部のなまえ

1. スパウトは昇降式
洗顔時と洗髪時でスパウトの高さが変えられるよう、スパウト部は昇降式となっています。
2. 吐水の切替え
ハンドスプレーは切替ハンドルにより、整流吐水とシャワー吐水に切替えることができます。

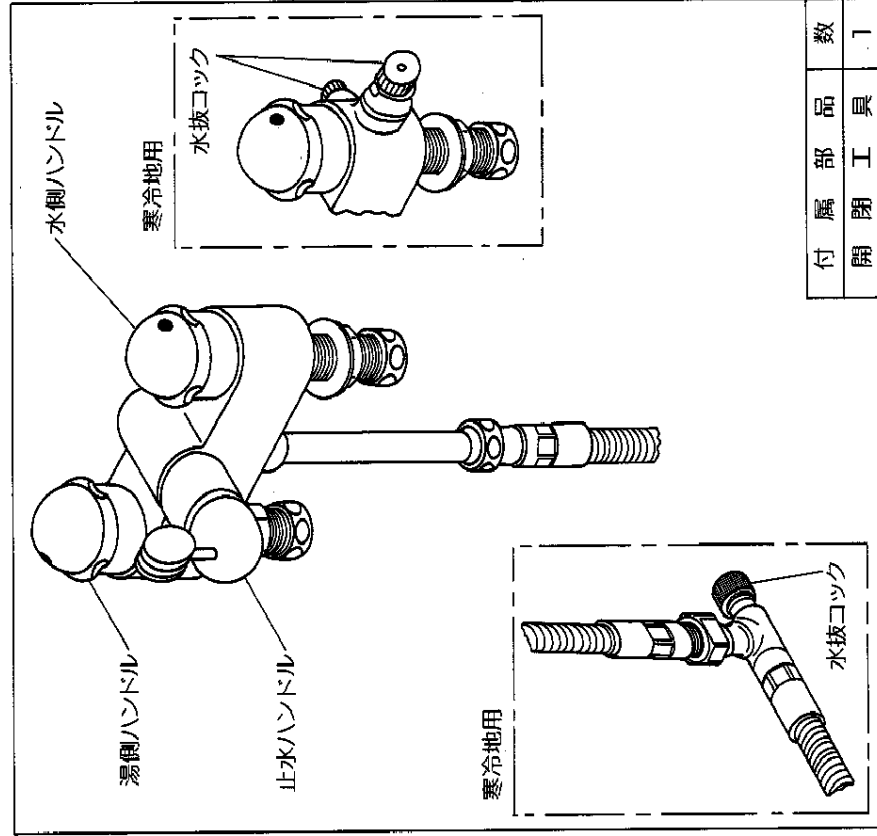


3. ハンドスプレーは引出し可能

ハンドスプレーは固定して両手で洗顔・洗髪をしたり、引き出してうなじを洗うことのできる兼用タイプです。

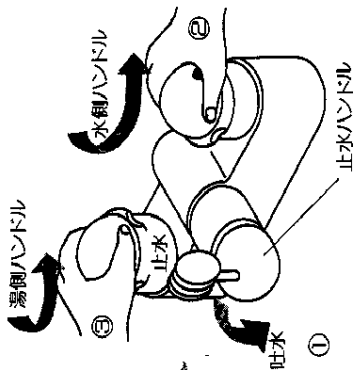
4. 止水ハンドルで操作も簡単!!

適温の状態で一時的に止水できる止水ハンドルが付いています。したがって一度温度調節をしておけば、あとは止水ハンドルを操作するだけで同じ温度のお湯を出すことができますので、温度調節のための無駄な水を流すことがありません。



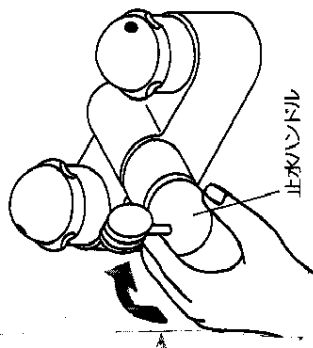
付属品	数
開閉工具	1

つかいかた



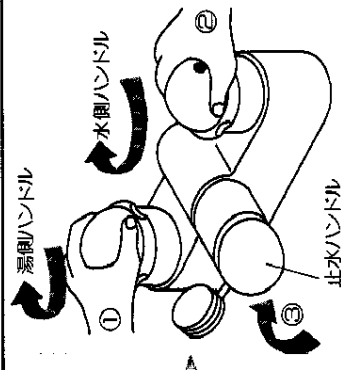
まず止水ハンドルを回し、次に水側ハンドルを回し、その後湯側ハンドルを回して温度及び吐水量を調節してください。(※湯側から回すといきなり熱湯が出て危険です。)

温度調節



お湯を一時止めたいときは止水ハンドルを右へ回せばいいに回してください。(※使用中の一時止水のときだけ使用してください。)

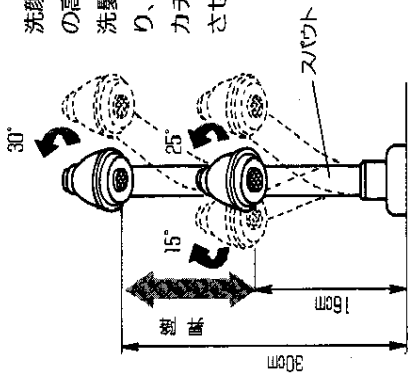
一時止水



ご使用後は、必ず止水ハンドルを開いたまま湯側、水側の順にハンドルを閉じ、最後に止水ハンドルを閉じてください。水側ハンドルを先に閉じると熱湯が出て危険です。

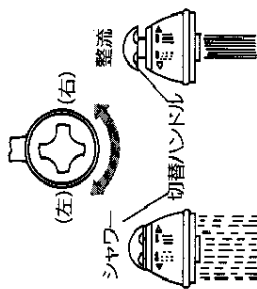
使用後の止水

スパウトの 高さ変更



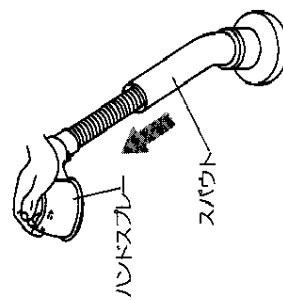
洗顔時と洗髪時でスパウトの高さが変わります。洗髪時は、スパウト部を握り、図に示す回転範囲内でカチッと音がするまで上下させてください。

吐水の 切替え



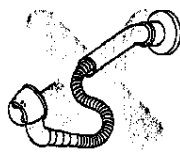
切替ハンドルを右方向へ回せばいいに回すと整流に、左方向へ回せばいいに回すとシャワーに切替わります。

ハンド スプレー



ハンドスプレーは必要に応じてスパウトより引き出したり、スパウトに固定したままでもご使用できます。

スパウトやホースに水をかけると水受けトレイから水があふね、洗面器の下を濡らすことがありますのでご注意ください。



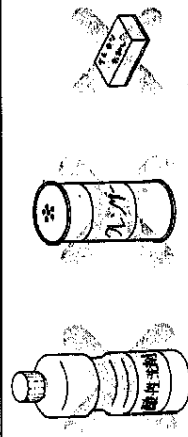
器具に水をかけないよ

給湯機がガス瞬間湯沸器の場合

- 湯側ハンドルは全開でご使用ください。
- 湯沸器の温度調節つまみを“高”の位置にして、能力切替つまみは季節に応じた位置にセットしてください。
- 適切なシャワー量で適温が得られないときは、湯沸器の能力切替つまみで調節してください。

手入れのしかた

いつもでも美しさを保つためにふだんは柔らかな布でふき、めっきされたところはときどきシン油やカーワックスなどをしこまごまかせた布でふいてください。ただし樹脂部(ハンドスプレーなど)に付着すると光沢を失いますので、付着しないよう十分注意してください。

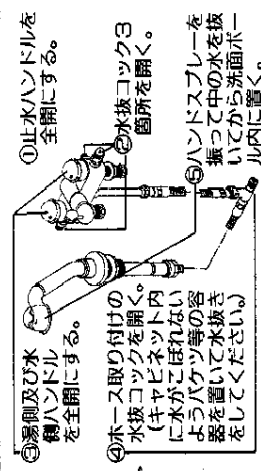


クレンザー・みがき粉などや粗い粒子を含む洗剤およびナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。カラー塗装品の場合には特別な手入れ方法となりますので同梱の取扱説明書をご覧ください。また、スパウトやホースに水がかかると、ホースを伝って水が水受けトレイにたまることがあります。定期的に水受けトレイの水位を確認し必要に応じて排水をしてください。

故障したときは

故障したときの修理はお取付工事店にご依頼ください。なおご不明な点がございましたら最寄りのTOTO事業所にお問合わせください。

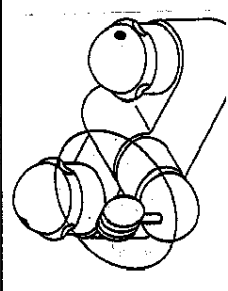
凍結のおそれがある場合は水抜き栓の操作とあわせて、左図の番号順に操作し器具内の水抜きを行ってください。



寒冷地用の水抜き方法

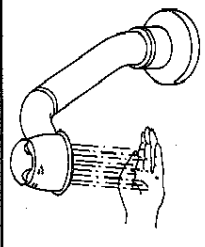
使用上の注意

熱湯を使用しますので、やけどなどの事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。



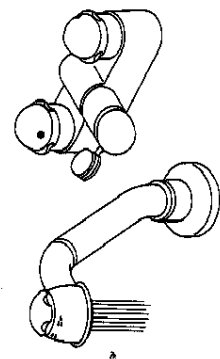
やけどに注意

器具の左側は熱湯で高温になるため金具の表面に直接ふれないでください。また高温で吐水させたのちはしばらく水を出し、残湯を流しておいてください。



湯温を確かめる

シャワーを使用するときは、いったん手で湯温を確かめてください。



しばらく吐水させて使用する

一時止水後再使用するときは、給湯配管内にたまっている高温の湯が出る場合があります。しばらく吐水させて湯温が安定してからご使用ください。